

議事録

日時：平成30年1月12日（金）10：00～12：00				会場：地盤工学会3階小会議室				
部長	高橋 章浩	○	副会長	菊池 喜昭	○	理事	石川 達也	△
部員	鈴木健一郎	○	部員	野田 利弘	△	部員	宮田 喜壽	△
部員	岸田 潔	△	部員	渡邊 康司	○	部員	杉本 映湖	×
部員	越村 賢司	○	部員	榎本 忠夫	○			

(事務局：新田、小畑)

○：JGS出席 △：電子会議出席 ×：欠席 空欄：未回答

議事録確認

1. 議事録者の指名 (別紙-1) p.1
 ■榎本部員が指名された。
2. 前回議事録の確認：公益出版部会（11/15） (別紙-2) pp.2-4
 ■高橋部長から前回議事録が説明され、承認された。

審議事項

公益出版部（全体）

1. 平成30年度第2次予算案について (別紙-3) pp.5-16
 ・総務部からの依頼（旅費は最低でも今年ベース。その他、部長自ら厳しく査定。）に対して、添付資料-1のよ
 うに2次案を作成した。具体的には、以下のとおり。
 <収益>
 1) 会誌販売収益・・・160万円→165万円に（5万円増額）⇒今年度予算ベースに
 2) 会誌定期購読料・・・55万円→60万円に（5万円増額）⇒今年度見込みベースに
 3) S&F 超過ページ代収益・・・400万円→454万円に（54万円増額）⇒20ページ→23ページ/号で修正。
 4) シリーズ出版物等収益・・・800万円→1250万円に（450万円増額）⇒増刷を見込んで増額。※
 5) 会誌広告料収益・・・650万円→700万円に（50万円増額）⇒今年度予算ベースに
 <支出>
 6) 学会誌発行費・編集委員会費・・・70万円 → 61万円に（9万円削減）⇒旅費交通費を昨年度と同額。
 7) 学会誌発行費・編集費・・・772万円 → 757万円に（15万円削減）
 ⇒電子版運用システム対応費は総務部で負担との決定（12/12電子化WG）を受けて、該当費用分を減額。
 8) 地盤工学ジャーナル 編集費・・・65万円→62万円（3万円減額）
 9) 公益出版部会費・・・30万円 → 20万円に（10万円削減）⇒旅費交通費を昨年度と同額。
 10) 入門S 支持力入門(改訂版)編集委員会・・・10万円 → 15万円に（5万円増額）
 ⇒発行年度のため開催数の増加を考慮し一次案より増額（昨年度と同額）。
 11) FEM はじめて学ぶ有限要素法(改訂版)編集委員会・・・13万円 → 15万円に（2万円増額）
 ⇒発行年月変更のため、開催数の増加を考慮し一次案より増額（昨年度と同額）。
 12) 刊行物発行費・印刷製本費/入門S.基礎の支持力と変形入門(仮)・・・90万円 → 110万円に（20万円増
 額）⇒予算書の転記ミスを修正（積算資料の変更はなし）、二次予算書の金額修正。
 13) 刊行物発行費・印刷製本費/FEM①～③.3分冊(有限要素法)・・・300万円 → 0円に（300万円削減）
 ⇒発行年月変更のため、削除。
 14) 保守運営費・・・55万円 → 0円に（55万円削減）
 ⇒総務部で負担（12/12電子化WGにて決定）のため、該当費用分を減額。

※ 上記により、収益予算を564万円増額、支出予算を合計365万円削減。

■上記4)の見込みが最も過大評価であるものの、上記案にて了承された。理事会での審議事項とする。

2. 平成30年度<公益出版部>事業計画「まえばん」(案)について……………(別紙-4)pp.17-18

■内容自体は問題ないが、以下の事項を修正することとなった。

- 上から7行目:「学会誌」の前に「地盤工」を追記
- 下から3、5行目:「地盤工学会誌」、「Soils and Foundations」という文言において、「」を削除

3. 創立70周年記念事業について……………(別紙-5)pp.19-25

■創立70周年記念事業について、以下のような提案があった。

- 地盤工学会誌創立70周年記念号の発刊。
- 収益性の上がる出版物を考える。特に、70周年という冠がつく間に出版を行うことで増販が見込める。
- S&Fにおける特集号の発行。ただし、70周年である2020年にS&FはちょうどVol.60となるため、本件についてはS&F編集委員会で議論する。
- 過去の学会誌を飾り、一時代を築いた過去の記事・論文等をピックアップして特集号を刊行する(記事の解説と当時掲載された元原稿も再掲する)。ただし、この場合は著作権の問題が残る。
- 専門家だけでなく一般の方を対象とした(例えばブルーバックス)10万部程度の売り上げを考えた記念出版物の計画を行う。70周年に間に合わなくても1年遅れなどで出版するという手もある。

■他の意見があれば1/19(理事会の一週間前)までに鈴木部員までメールで送付することとなった。鈴木部員がとりまとめて、70周年記念事業委員会の古関委員長に送付する。

4. 電子化WG

・12/12開催報告……………(別紙-6)pp.26-28

■内容を確認した。特に意見なし。

・確認・検討事項等……………(別紙-7)pp.29-31

■学会誌の電子版と冊子版の両方を希望する会員への対応については、以下のような意見があったが、再度、本部会で議論し、学会としてどのようにすべきか審議に諮ることとなった(継続審議事項)。

- 職場として特別会員になってもらうことで対応。
- 冊子版を購入いただくとともに、電子版を1年後に電子図書館に格納するのではなく発行と同時に電子図書館に格納することで対応。これにより、電子図書館の有料利用者の増加が期待できる。

■学会誌の電子版配信についての案内は、昨年9月号ではトップページに入れ込んだが、経費の関係もあるもので今後は、随時、スペースが余ったところに掲載していくこととなった。

5. 公益出版部収益改善のための方策について

■常に赤字の状態であり、70周年時には黒字化したい。公益出版部収益改善のための方策について、以下のような意見があった。

- 丸善のアドバイスを活かし、70周年記念として改訂版書籍を発行するのがよい。
- 一時代を築いた過去の記事・論文等をピックアップして特集号を刊行するのがよい。ただし、古い記事・論文等の著作権を確認するのは大変な作業になる。
- 書籍在庫を全て売り切るためには、書籍をいくつかのグループに分けて担当を決めて販売促進策を考えるのがよい。書籍の性格、研究内容の動向、需要によって販売戦略を変えていく必要があるためである。促進策の検討は、部会の全委員で実施していくものとする。グループ分けにおいては、書籍内容のレベル(高度、入門レベルなど)も3段階で評価するものとし、次回の部会までにグループ案を作成する。

会誌運営委員会

特になし

Soils and Foundations 編集委員会

特になし

地盤工学ジャーナル編集委員会

特になし

出版企画WG (旧：出版企画委員会)

1. 学会書籍の増刷について…………… (当日資料-1)
 - 「生態系読本 暮らしと緑の環境学」という書籍については、理事会に「絶版」として報告しているのを、在庫を売り切って絶版とする方針が確認された。
 - 実務シリーズ 24, 29, 31 および弾塑性構成モデルに関する書籍の増刷数は今月の理事会 (1/26) に諮る必要があるのでは、渡邊部員から翌週 (1/15~1/19) に増刷数の案についてメールを発信することとし、メール審議とすることとなった。

報告・確認事項

公益出版部 (全体)

1. 理事会 (11/24、12/22 (書面会議)) 開催報告…………… (別紙-8) pp. 32-41
 - 内容を確認した。特に意見なし。
2. 平成 29 年度公益出版部収支報告 (29 年 12 月末現在)…………… (別紙-9) p. 42
 - 「地盤工学ハンドブック」は不良在庫が多いため、不良在庫でも販売可能か否か、事務局にて丸善に確認することとなった。

会誌運営委員会

1. 前回議事録 (案) (12/18) の確認…………… (別紙-10) pp. 43-45
 - 内容を確認した。特に意見なし。
2. 「地盤工学会誌」の発行、目次…………… (別紙-11) pp. 46-48
 - ①30 年 2 月号 (H30. 2. 1 発行予定)
 - ②30 年 3 月号 (H30. 3. 1 発行予定)
 - 内容を確認した。特に意見なし。
3. 平成 31 年の学会誌「特集テーマの年間計画」(予定)…………… (別紙-10) pp. 43-44
 - 内容を確認した。特に意見なし。
4. 学生編集委員の取材旅費について…………… (別紙-12) pp. 49-50
 - 学生編集委員の取材旅費の支払いについては、1000 円以下であっても旅費支給規定 第 14 条に則り支給できることを確認した。
5. 講座執筆要領の一部変更について…………… (別紙-13) pp. 51-57
 - 内容を確認した。特に意見なし。

Soils and Foundations 編集委員会

1. 前回議事録 (11/30, 12/26) の確認…………… (別紙-14) pp. 58-61
 - 内容を確認した。特に意見なし。
2. Soils and Foundations 編集・発行 進捗状況について…………… (別紙-15) p. 62
 - ・30 年 2 月号 (Vol. 58, No. 1) :2 月 28 日発行予定
 - 内容を確認した。特に意見なし。
3. 「Guide for Authors」規程の変更について…………… (別紙-16) pp. 63-74
 - 内容を確認した。特に意見なし。理事会での報告事項とする。

地盤工学ジャーナル編集委員会

特になし

出版企画WG（旧：出版企画委員会）

1. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告 ……（当日資料-2）
 - 「河川堤防の調査・検討から維持管理まで（仮称）」については、出版時期の変更を理事会に諮ることとする。また、販売価格の引き上げについても検討すべきとの意見があった。
 - 著作物の二次利用は著作権上の問題が生じるため、今後の著作物の契約においては内容を見直していく必要がある。渡邊部員にて契約内容に関する変更案を作成し、弁護士等と相談した上で、次回の部会で報告することとなった。FEMに関する書籍については、当該内容が確定した段階で執筆依頼を送付することとなった。
2. その他
 - ・技術普及委員会：講習会開催予定など ……（当日資料-3）
 - 内容を確認した。特に意見なし。

そ の 他

1. ショッピングカートへのお問合せ対応について ……（別紙-17）pp. 75-76
 - 当該書籍の執筆者にミスはないか改めて原稿を確認してもらうよう、編集委員会 幹事から各執筆者に依頼していただくこととなった。なお、執筆者は自身の原稿のミスに気づかない可能性もあるので、分野的に近い第3者に内容確認を依頼した方がよいかもかもしれないという意見があった。

●次回理事会（1/26）への提案事項の確認

●次回以降理事会開催日

30年：1/26（金）、2/23（金）＜書面会議＞、3/16（金）

★次回部会開催日：平成30年2月28日（水） 10:00～12:00 階 会議室

以 上